

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アイデアホーム錠 (かすがい)		公表日		2026年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	子供たち一人ひとりにしっかりと目が行き届くよう、利用定員とスペースのバランスを大切にしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	子供たちがそれぞれのペースで過ごせるように、職員の配置をしています。	その日の利用児の特性に合わせて、職員の数を整える努力を継続していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	子供たちが安心して快適に過ごせるよう、生活空間にもたくさんの工夫をしています。床上のスペースには、畳を敷き、床暖房でほかほかと心地よい温かさを感じられるようにしています。トイレには手すりもあり、車いすのまま入れるようになっています。洗面台も車いすのまま使える高さになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3	子供が一人でも落ち着いて過ごせるよう、仕切りを使って個別の空間を作る等の工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	定や振り返りに主体的に関り、継続的な改善に取り組んでいます。	非正規職員にも会議に参加していただく時間の確保を行いたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	保護者の方の思いやご希望をしっかりと受け止められるよう、個別支援の面談の時に声をいただいています。声をもとにより良い支援や環境づくりにつなげていけるよう心がけています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	職員の声を大切にし、日頃の思いや気づきを話し合える機会を設けています。民でより良い支援や環境づくりにつなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		現在は外部からの評価を受けることが難しく業務改善への活用にも課題があります。今後に向けてできる方法を少しずつ考えていきたいと思っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2			現在は、支援プログラムの作成や公表が十分ではありませんが、今後は工夫を重ねながらわかりやすく伝えられる形にしていきたいと考えます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	懇談会にて保護者の意向を傾聴していきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	ミーティングによりその日の支援の周知をおこなっています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		子供の様子をしっかりと理解できるよう、日々の観察に加えて、必要におうじてアセスメントツールも活用しながら確認する様に努めていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2	個別支援計画にそって、その子にあった支援を行っています。発達の各領域にも目を向けながら、今必要なサポートも丁寧に進めています。		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	子供たちにとって楽しく、安心できる時間になるよう、活動の内容はスタッフみんなで話し合いながら考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	朝の職員ミーティングを行い、当日の状況なども含め、職員全員で周知して支援をおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	終礼ミーティングで、その日の振り返りをおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の記録は必ず記録して、問題になった、事案は、その日解決できることはその日に提案、次に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	集団での遊びや創作を通して、基本的な生活動作が自然に身に付くよう工夫しながら支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議には必ずその子供の担当者出席している。	定期的に相談支援員を通じて、学校での目標、学習の取り組みなど情報共有の会議をお願いしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	年度初めに学校との放課後連絡会が開催されます。そこに参加させていただき、情報共有連絡調整をさせていただきます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	学校の進路指導担当の先生との情報共有 学校から福祉サービスへの移行会議への出席している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	必要に応じて専門的助言やスーパーバイズを受ける機会を設けています。職員が研修に参加できるよう体制を整えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		協議会などの開催時間が業務時間とのすり合わせが難しい状況。今後は参加の方法等検討していきたいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時にその日の活動の状況、本人の様子をお伝えしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	放課後の取り組みは、お話してご家庭でもできそうなことは、保護者様にお話をしている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	懇談会にて保護者に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1	計画書の内容については、保護者の意向に沿って計画を作成している	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	個別の日々の連絡については、LINEにて連絡をおこなっています。	HPには全体の活動の様子を更新しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		地域の皆様と交流できる機会を大切にしたいと考えていますが、感染症などのリスクを考えると、健康への影響が大きいお子さんも多く現在も地域に開かれた運営は難しい状況です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	非常時に備えてBCP（業務継続計画）を作成し、避難や救出の訓練も定期的に行い、いざというときに落ち着いて行動できる用備えています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	医療に関する服薬、予防接種、転換発作などの状況は事前に告知いただき、主治医からの医療情報提供書を頂いて子供が安全、安心して過ごせるよう対応をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	主治医からの医療情報提供書を頂いて子供が安全、安心して過ごせるよう対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全に配慮した計画を立て、研修や訓練を行いながら安心して過ごせるように支援しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	小さな気づきも大切にし、事業所内で共有して、再発防止に向けた話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	子供たちを守るために、職員が適切な対応を学べるよう研修の機会を設けるなど、虐待防止に向けた取り組みを行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	車いすやベットの柵等の身体拘束については子供安全を守るために必要な限り、事前に保護者の方と十分に話し合い、同意を得たうえで、計画に記載して対応しています。		